

バイオハザード対策用クラスⅡキャビネット 現場検査マニュアル

JACA No. 17-2021（第2版）

公益社団法人 日本空気清浄協会
バイオハザード対策専門委員会

昭和58年(1983年)8月1日制定
昭和63年(1988年)11月1日改正
平成21年(2009年)7月1日改正
令和3年(2021年)11月8日改正
令和5年(2023年)3月6日第2版

公益社団法人日本空気清浄協会は、日本産業規格「バイオハザード対策用クラスⅡキャビネットJIS K3800:2021及びそれより前のJIS K3800」に合わせるため、現場検査マニュアルJACA No. 17Dを改定する。

目 次

1. 目的
 2. キャビネットの検査
 - 2.1 検査の種類と現場検査の検査項目
 - 2.2 現場検査の概要
 - 2.3 現場検査の時期
 3. 現場検査の試験項目
 - 3.1 密閉度
 - 3.2 HEPA・ULPAフィルタ透過率
 - 3.3 気流バランス
 - 3.4 平均吹出し風速
 - 3.5 平均流入風速
 - 3.6 前面パネル高さ位置の警報
 - 3.7 その他の検査
 4. 設置方法の適合性
 - 4.1 概要
 - 4.2 器具
 - 4.3 キャビネット設置状態の確認
 - 4.4 室内排気
 - 4.5 間接ダクト接続
 - 4.6 直接ダクト接続
 - 4.7 ダクトの必要条件
 5. 現場検査報告書
 6. 現場検査票
- 付属書
- A.1 現場検査項目（表1）以外の検査項目
 - A.2 粒子計数器によるHEPA/ULPAフィルタ検査が不適切な理由
 - A.3 平均流入風速代替測定法の追加提案について
 - A.4 省エネ設計の排気システム
 - A.5 クラスⅡキャビネットの分類
 - A.6 キャビネットの製造根拠となったJIS K 3800規格の変遷と検査方法の変化